

令和 3 年度 事業 報告 書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

令和 3 年度事業の実施につきましては、コロナ感染症拡大の影響を受けて、見学会やイベントなどたくさんの方の海事広報行事が規模の縮小や中止となりましたが、感染防止対策を行い、九州運輸局をはじめ、関係機関、関係諸団体並びに業界各位の絶大なるご支援をいただき、また、会員の皆様方のご協力のお陰をもちまして、公益事業等を実施することが出来ましたので、その概要をご報告申し上げます。

I. 公益目的事業

1. 体験活動等（公益目的事業の区分 4）

(1) 海の教室 ～船との出会い事業～

四面環海で海からの恵みを受け、国民生活の基盤を海外との貿易・海上輸送に依存しているわが国では、海運・造船・港湾などの海洋産業の果たすべき役割が極めて重要であり、青少年や一般市民のみなさんに海事産業や海洋についての認識を深め、海に対する興味や関心を高めてもらうことで、将来の海事産業への進路の選択肢を広げていただくことが不可欠です。

このため、海事関係施設の見学会や船舶を利用した港ウォッチングなどの体験型学習会や出前講習、オンライン教室を九州運輸局並びに関係団体等との共催により、次のとおり実施しました。

・ 7 月 16 日（金）出前講習「海運と船と港の役割について」

唐津市立湊小学校 5 年生 14 人、教諭 2 人

唐津市神集島 佐賀玄海漁協神集島支所会議室

主催：（公社）九州海事広報協会

共催：九州運輸局佐賀運輸支局

・ 7 月 27 日（火）オンライン教室「夏休み・海の学習会」

別府市南子育て仲よしクラブ児童 44 人、指導員 2 人

別府市立南小学校多目的ホール

主催：（公社）九州海事広報協会

協力：九州運輸局大分運輸支局

・ 10 月 26 日（火）「海事産業見学会、乗船体験」

佐世保市立花高小学校 5 年生児童 102 人、教諭 4 人

主催：九州運輸局長崎運輸支局佐世保海事事務所

協力：西海沿岸商船（株）、佐世保重工業（株）

・ 12 月 7 日（火）「海事産業見学会」

熊本県甲佐町立白幡小学校 5 年生徒 21 人、教諭 3 人

主催：九州運輸局熊本運輸支局

協力：熊本ドック（株）、ヤマハ熊本プロダクツ（株）、

八代コンテナターミナル

・12月10日(金)「海の教室、海事産業見学会、乗船体験」

北九州市立石峯中学校1年生徒50人、教諭3人

主 催：九州運輸局福岡運輸支局若松海事事務所

出前授業：(一社)日本船主協会、大島商船高等専門学校

協 力：北九州市営若戸渡船、ニッスイパイオニア館、日本サバイバルト
レーニングセンター、エコタウンセンター、(株)エヌエスウィンドパワー
ひびき

2. 海の日、海の月間(公益目的事業の区分8)

(1) 「海の日」「海の月間」関連行事広報

九州管内で行われる各種イベントについて、令和3年「海の月間」行事案内を2,000部作成し、会員、関係機関、中学校、報道機関に配布、広報を行いました。

また、令和3年「海の月間」行事計画一覧を作成し、九州運輸局、九州海事広報協会のホームページで案内しました。

(2) 「海の日」における海事功労者の表彰式典

令和3年「海の日」記念式典、海事功労者表彰式はコロナ禍で多くの地区で中止となりました。海事功労者表彰を受けた皆さんへは、各団体から表彰状の伝達が行われました。

北九州市では7月28日(水)、プレミアホテル門司港において、九州運輸局、九州地方整備局、第七管区海上保安本部、北九州海の日協賛会による海事関係者功労者表彰式が行われました。

なお、管内各地区において実施される「海の日」式典及び諸行事について各地区の協賛会などと協賛しました。

北九州海の日式典での被表彰者・団体は

国土交通大臣表彰	6名	
海上保安庁長官表彰	5名	
九州運輸局長表彰	5名	
九州地方整備局長表彰	11名・2団体	
第七管区海上保安本部長表彰	6名	
北九州海の日協賛会長表彰	26名	計 59名・2団体

【九州運輸局管内(11地区)運輸局関係の表彰者】

○被表彰者(59名)

- 1 国土交通大臣表彰 14名
本局(1)福岡(4)佐世保(1)大分(2)宮崎(1)鹿児島(3)下関(2)
- 2 九州運輸局長表彰 45名
本局(5)福岡(4)若松(1)長崎(12)佐世保(2)佐賀(2)熊本(2)
大分(4)鹿児島(7)下関(6)

3. 表彰、コンクール

(1) 第58回中学生海の絵画コンクール(九州・山口地区)

7月1日(木)審査員2名(穴吹(示現会会員)、綿引(新世紀美術協会会員))により審査を行い、金賞1点、銀賞3点、銅賞6点、佳作30点の入選作品、優秀校1校を決定しました。

入賞作品は、次の場所で展示会を開催しました。

7月19日(月)～7月31日(土)(金・銀・銅・佳作、合計40点)

門司港レトロ地区 旧門司税関1F 観覧者数4,668人

8月4日(水)～17日(火)(鹿児島地区の応募作品を展示)

鹿児島市 山形屋ななテラス 観覧者数約3万人

8月12日(木)～17日(火)(佐世保地区の応募作品を展示)

佐世保市 佐世保玉屋 観覧者数約400人

4. 上記の事業区分に該当しない事業(公益目的事業の区分18)

(1) 海事知識の普及事業

「日本の海を愛するパネル展」を実施しました。

モーターボート競走事業とタイアップした(一財)日本モーターボート競走会からの受託事業です。

- ・令和3年6月19日(土) ボートレースからつ 第3回見返りの滝あじさいカップ
- ・令和3年6月26日(土) ボートレース若松 ルーキーズ 第9戦植木通彦フェニックスカップ
第21回スカパー! JLC杯
- ・令和3年7月3日(土) ボートレース大村 GIIIアサヒビールカップ
- ・令和3年7月25日(日) ボートレース下関 GIIIオールレディース ジュエルセブンカップ
- ・令和3年8月14日(土) ボートレース福岡 お盆特選レース
- ・令和3年8月29日(日) ボートレース芦屋 ヴィーナシリーズ第10戦 マンスリーBOATRACE杯

II. その他の事業(相互扶助等の事業)

1. 他の団体との連携事業と海事広報宣伝物等の発行配布

(1) 他の団体との連携事業

海事関係の各種団体と積極的に連携し、次の行事の協賛等を行いました。

・全国ビーチウォーク&クリーンアップ作戦

令和3年7月16日(金)唐津市立湊小学校5年生 神集島の白浜海岸海水浴場で清掃活動を実施(参加者約28人)。

令和3年7月18日(日)南さつま市、教育委員会、南さつま市子ども会育成連絡協議会による新川海岸(吹上浜)クリーン作戦、清掃活動を実施(参加者約450人)。

令和3年10月17日(日)北九州市港湾空港局、北九州港振興協会(北九州海の日協賛会)、九州海事広報協会により西海岸地区、門司港レトロ地区で実施。清掃活動と啓発グッズの配布(参加者約60人)。

・2020 ジュニア・シッピング・ジャーナリスト(JSJ)賞入選作品展

(公財)日本海事広報協会が主催した2020JSJ賞「国土交通大臣賞」ほか入選作品展を8月1日(日)～6日(金)門司港レトロ地区の旧門司税関(14作品)、8月16日(月)～27日(金)下関市役所新館1階ロビー(6作品)で展示。

・2021 海の日ポスターコンクール入賞作品展

国民の祝日「海の日」海事関係団体連絡会が主催した2021海の日ポスターコンクール入賞作品展を7月19日(月)～8月6日(金)門司港レトロ地区の旧門司税関(7作品)で展示。

・「海の仕事へのパスポート」海洋キャリア教育セミナー

① 10月19日(火) (株)三浦造船所見学会及び海事講座

(公財)日本海事広報協会が主催。大分県佐伯市立本匠中学校2年生徒7人、教諭2人が佐伯市の(株)三浦造船所の造船技術者より、流氷観光船「ガリンコ号Ⅲ IMERU」の建造について聞き、その後、同造船所内を見学しました。

② 11月12日(金) オンライン交流会

(公財)日本海事広報協会が主催。北海道オホーツク海で活躍する流氷観光船「ガリンコ号Ⅲ IMERU」が(株)三浦造船所が建造されたのをきっかけとして、11月12日(金)佐伯市立本匠中学校2年生7人と北海道紋別市立渚滑中学校2年生8人がオンライン交流会を開催。なお、10月19日(火)に本匠中学校の生徒が佐伯市の(株)三浦造船所で船造りを学んでおり、九州・佐伯市と北海道・渚滑町は直線距離でおよそ1600km離れていますが、両校の生徒は画面共有機能を用いてスライドや動画を共有しながらガリンコ号Ⅲや地元の海事産業・観光などについて発表し、その交流を深めました。

③ 令和4年2月8日(火) 海事講座(オンライン)

(公財)日本海事広報協会及び(公社)九州海事広報協会より北海道紋別市立渚滑中学校2年生8人を対象に、WEB画面共有機能を用いて海事講座「私たちの暮らしと船について」の講話及び流氷観光船「ガリンコ号Ⅲ IMERU」等の活躍や「ガリンコ号」の歴史についての講話を行い、生徒は海や船に関する知識を深めました。

(2) 海事広報宣伝物等の発行配布

主な海事広報宣伝物等は次のとおりです。

1. 九州海事広報協会会報(9月・1月の年2回発行)
2. 海上の友(毎月1回発行)
3. 日本の海運 SHIPPING NOW 2021-2022
4. 副教材「海運と船と港の役割」下関版、全国版
5. ぼくとわたしのシップガイド
6. 船ってサイコー!
7. 船の仕事ってなに?
8. 内航海運の活動
9. 船乗りになろう リーフレット
10. 内航船 ペーパークラフト
11. 九州のフェリーガイド
12. 気軽な船旅フェリーパンフレット
13. 心に響く感動の船旅 クルーズをもっと身近に旅客船

※ 配付グッズ

- 「海の日」うちわ
- 「海の日」下敷き
- 「海の日」クリヤホルダ
- 「海の日」ノート
- 「海の日」除菌ウェットティッシュ
- ボールペン
- メモ帳

Ⅲ. 庶務事項

1. 総会

令和3年5月18日(火) 於: 北九州市 リーガロイヤルホテル小倉

- (1) 令和2年度事業報告及び決算報告の承認に関する件
- (2) 役員辞任に伴う役員改選に関する件
- (3) その他(報告事項)

ア 令和3年度事業計画及び収支予算について

2. 理事会

(1) 令和3年4月15日(木)【書面による理事・監事全員の同意】

ア 令和2年度事業報告及び決算報告の承認に関する件

(2) 令和3年5月18日(火)【ハイブリット型理事会】

ア 代表理事(副会長)の選定に関する件

イ 業務執行理事(常務理事)の選定に関する件

ウ その他 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告

(3) 令和4年2月25日(金)【ハイブリット型理事会】

ア 令和4年度通常総会招集の決議に関する件

イ 令和4年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)の承認に関する件

ウ 会員資格取得(入会)の承認に関する件

エ その他 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告

3. 監査

令和3年4月8日(木)

当協会監事による令和2年度事業並びに収支状況の監査

4. 会議等

- ・令和3年5月20日 北九州「海の日」表彰第1回打合せオンライン会議
- ・令和3年5月31日 西日本海難防止協調運動推進連絡会議(意見照会)
- ・令和3年6月11日 福岡市海の日協賛会総会(書面審議)
- ・令和3年6月16日 令和3年度北九州海の日協賛会・実行委員会(書面開催)
- ・令和3年6月25日 関門港ボート天国推進協議会総会(書面表決)
- ・令和3年6月29日 九州クルーズ振興協議会総会(書面協議)
- ・令和3年7月1日 第58回中学生海の絵画コンクール(九州・山口地区)審査会(門司港)
- ・令和3年7月14日 北九州「海の日」表彰第2回打合せ会議(門司港)
- ・令和3年7月19~31日 第58回中学生海の絵画コンクール(九州・山口地区)
「入賞作品」展示会(旧門司税関)
- ・令和3年7月28日 令和3年北九州「海の日」海事功労者表彰(門司港)
- ・令和3年8月4~17日 第58回中学生海の絵画コンクール
(鹿児島地区応募作品)展示会(山形屋ななテラス)
- ・令和3年8月12~17日 第58回中学生海の絵画コンクール
(佐世保地区応募作品)展示会(佐世保玉屋)
- ・令和3年10月28日 令和3年度第1回全国海事広報協会事務局長会議(Web会議)
- ・令和4年3月10日 2021年度ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞
「九州国際大学附属中学校新聞部・国土交通大臣賞授与式」
(九州国際大学平野記念館)

IV. 付属明細書

令和3年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容上補足する重要な事項」が存在しないので作成していません。

令和3年度 決算報告書

(1) 貸借対照表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)	備 考
I 資産の部				
1.流動資産				
現金	0	0	0	
みずほ銀行(普通預金)	1,978,659	2,269,410	-290,751	
北九州銀行(普通預金)	912,782	745,951	166,831	
未収金	0	0	0	
流動資産合計	2,891,441	3,015,361	-123,920	
2.固定資産				
(1)特定資産				
退職給付引当預金資産	220,000	1,100,175	-880,175	
(2)その他の固定資産				
敷金	0	0	0	
一括償却資産	0	0	0	
固定資産合計	220,000	1,100,175	-880,175	
資産合計	3,111,441	4,115,536	-1,004,095	
II 負債の部				
1.固定負債				
退職給付引当金	220,000	1,100,175	-880,175	
固定負債合計	220,000	1,100,175	-880,175	
負債合計	220,000	1,100,175	-880,175	
III 正味財産の部				
1.一般正味財産	2,891,441	3,015,361	-123,920	
正味財産合計	2,891,441	3,015,361	-123,920	
負債及び正味財産合計	3,111,441	4,115,536	-1,004,095	

(注) 「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。

(2) 正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	4,100,000	4,190,000	-90,000	
正会員	3,620,000	3,620,000	0	
賛助会員	480,000	570,000	-90,000	
事業収益	7,770,550	7,543,000	227,550	
受託事業収益	7,770,550	7,543,000	227,550	日本海事広報協会・日本モーターボート競走会
受取負担金	20,000	20,000	0	
受取負担金	20,000	20,000	0	
雑収益	49,198	45,510	3,688	
受取利息	224	36	188	
雑収益	48,974	45,474	3,500	海上の友発送手数料
経常収益計	11,939,748	11,798,510	141,238	
(2) 経常費用				
事業費	11,035,315	10,005,876	1,029,439	
制作費	323,466	131,400	192,066	
イベント開催費	2,832,000	3,061,400	-229,400	
広報宣伝物費	183,166	131,378	51,788	
事務管理費	222,137	171,680	50,457	
表彰費	54,340	54,340	0	
審査費	30,000	30,000	0	
諸謝金	0	0	0	
臨時嘱託料	0	0	0	
給料手当	5,020,732	4,080,840	939,892	
臨時雇賃金	14,000	10,000	4,000	賞状書代ほか
退職給付費用(引当金繰入)	176,000	176,000	0	
福利厚生費	621,116	567,142	53,974	
会議費	6,596	7,322	-726	
旅費交通費	159,388	165,136	-5,748	
通信運搬費	312,271	308,224	4,047	
一括償却資産減価償却費	0	33,062	-33,062	パソコン
消耗品費	151,602	171,685	-20,083	
印刷製本費	17,600	17,600	0	
光熱水料費	0	0	0	
賃借料	835,019	779,405	55,614	バス貸切・用船料・借室料等
雑費	75,882	109,262	-33,380	
管理費	1,028,353	728,383	299,970	
広告宣伝物費	12,791	20,469	-7,678	
給料手当	339,628	166,000	173,628	
退職給付費用(引当金繰入)	44,000	44,000	0	
福利厚生費	155,279	141,786	13,493	
会議費	93,005	33,275	59,730	総会・理事会等
旅費交通費	9,042	6,444	2,598	
通信運搬費	58,725	34,447	24,278	
一括償却資産減価償却費	0	8,266	-8,266	
消耗品費	37,900	42,921	-5,021	
印刷製本費	127,100	117,425	9,675	
光熱水料費	0	0	0	
賃借料	46,200	11,550	34,650	
図書費	0	3,696	-3,696	
交際費	0	0	0	
支払助成金	0	0	0	
支払負担金	78,000	73,000	5,000	各種会費等
雑費	26,683	25,104	1,579	
経常費用計	12,063,668	10,734,259	1,329,409	
当期経常増減額	-123,920	1,064,251	-1,188,171	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-123,920	1,064,251	-1,188,171	
一般正味財産期首残高	3,015,361	1,951,110	1,064,251	
一般正味財産期末残高	2,891,441	3,015,361	-123,920	
II 指定正味財産増減の部			0	
当期指定正味財産増減額			0	
指定正味財産期首残高			0	
指定正味財産期末残高			0	
III 正味財産期末残高	2,891,441	3,015,361	-123,920	

(注) 「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。